

Activity report

第1期



NPO法人ToBiRa

年次報告書 2025年度

2025年4月1日～2026年3月31日

すべての子どもが
未来で
幸福を実現できる
社会を創る

教育は未来への 責任を果す

ー今を未来へつなげる

代表理事

菊池 慧



『可愛い子には旅をさせよ』の普遍の真理

現役公立中学校教員として学校現場に身を置きながらNPO法人ToBiRaを仲間と共に立ち上げました。学校現場経験10年目。沢山の未来ある豊かな子どもたちに出会い、教え教えられながら今に至ります。人間同士、心と心がつながり、共に過ごす時間は私にとってかけがえのない財産となっています。1年前、私にとって最初の卒業生と成人式で再会しました。『あの時の言葉で変わることができました』と嬉しい言葉を頂く一方、自分の人生に悲観し暗いトンネルに迷い込み、苦しい人生を送っている教え子のこともしも聞きました。そのことを聞き、自分自身を責めました。問題点に気づいていたのに、愛ある厳しい言葉が言えなかった。力がなく、他の世界を見せてあげられなかった。自己への気づきを支援してあげられなかった。傲慢な後悔です。この経験から私の教育観は『子どもの未来に責任を果たすこと』と定義し、使命感を改め、動き続けることを決意しました。その“未来への責任”という目で教育を見ると、大きな壁が無数にもそびえ立っていることが分かりました。孤立・受け身化させるスマホの浸透、青年期にも干渉しすぎる保護者の方、狭い世界で生活させる学校環境、AIが得意な領域をやり続ける授業など。子どもの自律・自立の障壁は学校現場にいる限り、変えることはできません。

このような背景から、NPO法人ToBiRaを民間・教員、学生の仲間と立ち上げ1年間奔走してきました。学校にできない教育を内部と外部の視点を持ちながら実践する第三の立場として、多様な立場が混じ合い“教育”という共通視点を持つメンバーの個性を活かして活動を広げていっています。私たちは、子どもの未来への責任を果たすための基盤となる力を“主体性”の育成と定義しています。その“主体性”を獲得させるため、実社会での3つの未知（困難、新しい人、新しい価値観）との出会いをMissionとして位置づけ教育事業を運営しています。これは、古来より受け継がれた諺『かわいい子には旅をさせよ』を現代に即して使っている言葉です。かわいい子どもだからこそ、“自立”をさせてあげるために世の中を冒険させてあげることが必要ではありませんか？子どもたちの力を信じ伴走する団体として私たちは労力を惜しまず活動していきます。

活動レポート

立ち上げ当初は、右も左も分からず企画を何度も書き換えながら徐々に活動を広げることができました。活動事業年度後半より教育事業が展開できるようになりました。

No.1



夜通し35キロの冒険ナイトウォーク企画

困難との出会い”を教育事業化したのが本事業です。その時々で設定するスタート地点からゴールまでの約35^{km}の道のりを子ども5人、大人1名の小グループでスマホを禁止し、コンパスと地図のみで歩きます。不便な環境を作り出すことで子どもたちの主体性が引き出され、自然と思考が巡り建設的な会話も生まれていきます。小グループ制にすることで、普段恥ずかしい人生観の深い話をするときも。私たちToBiRaのエネルギッシュなメンバーだからこそ、実現できる企画です。今まで2回、計45人の中高生が参加してくれました。

No.2

ロールモデルが見つかるTOBIRA記者企画

“新しい人、価値観との出会い”を教育事業化したのが本事業です。子どもの世界は学校、習い事、家の3つの世界。授業で学ぶことも“経験”が乏しい子どもたちにはイメージ、実感が持ちにくい。子どもたちが多くの素敵な大人や現実の社会問題を取材する中で自己を見つめ直し、よりよく生きるきっかけを掴むことができます。現在、高校生記者部男子2名、女子2名の計4人が活動しています。“高校生”の視点で書かれた記事を同じ年齢の人へ届け、人生を見つめ直すきっかけを作ることを目指しています。



No.3



“やりたい”を実現するミニトビラ企画

実社会での3つの未知との出会いのMissionを実現するのが本事業です。子どもの“やりたい”を面談を繰り返しながら引き出し、企画・実行まで伴走します。今年度葉飲食店企画をし、試食会までを行うことができました。

次年度への企画準備も着々と

夏季休業に向けて、地域の企業への職場体験を記事化する記者企画特別編、古民家を題材に自らの力で創造するを宿泊企画を準備中！

すべての子どもたちの 幸せを築く

AIが瞬時にそれらしい解を導き出し、
短期間で当たり前が変化する予測不能なVUCAの時代。

そんな時代を生きる子どもたちに必要なのは、
知識を蓄えること以上に、
“自分だけの答え”を導く力ではないでしょうか。

我々が用意するのは、実社会での挑戦の場のみ。

立ちはだかる困難。

初めて、出会う人。

自分とは異なる価値観。

この3つの未知と出会うなかで子どもたちに
主体性が宿る瞬間があります。

「逃げなかった」「分かり合えた」「やり遂げた」。

その小さな成功体験の積み重ねが、

いつしか「自分は大丈夫」という

揺るぎない自己肯定感につながる。

そんな積み重ねが、自らの意志で歩み、

自らの手で幸せを築いていく。

だからこそ私たちは、

子どもたちの未来へと続く原体験を提供します。

令和7年度 活動計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人ToBiRa

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	0		
賛助会員受取会費	0		
		0	
2 受取寄付金			
受取寄付金	177,000		
		177,000	
3 受取助成金			
受取助成金	0		
		0	
4 事業収益			
事業収益	0		
		0	
5 その他収益			
受取利息	68		
		68	
収益計			177,068
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当			
法定福利費	0		
人件費計		0	
(2) その他 経費			
会場費	44,402		
研修費	30,000		
旅費交通費	13,160		
広告宣伝費	20,090		
消耗品費	23,916		
飲食費	15,176		
車両費	4,376		
印刷費	4,160		
通信費	9,381		
雑費	0		
保険料	10,000		
その他 経費計		174,661	
事業費計			174,661
2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計		0	
(2) その他経費			
消耗品費	1,100		
資料費	4,808		
広告宣伝費	78,890		
通信費	730		
会議費	0		
旅費交通費	0		
システム利用費	6,539		
雑費	6,621		
その他経費計		98,688	
管理費計			98,688
III 経常外収益			
経常外収益計			0
III 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			-96,281
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			-96,281
設立時正味財産額			0
次期繰越正味財産額			-96,281

令和7年度 貸借対照表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人ToBiRa

(単位：円)

科目		金額	
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	62,502		
流動資産合計		62,502	
2 固定資産			
（１）有形固定資産			
有形財産合計		0	
（２）無形固定資産			
無形固定資産合計		0	
（３）投資その他の資産			
その他固定資産合計		0	
固定資産合計		0	
資産合計			62,502
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金（役員立替）	158,783		
流動負債合計		158,783	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			158,783
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産			0
当期正味財産増減額			-96,281
正味財産合計			-96,281
負債及び正味財産合計			62,502

令和7年度 財務目録

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人ToBiRa

(単位：円)

科目		金額	
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金			
銀行普通預金	62,502		
流動資産合計		62,502	
2 固定資産			
（１）有形固定資産	0		
有形財産合計		0	
（２）無形固定資産	0		
無形固定資産合計		0	
（３）投資その他の資産	0		
その他固定資産合計		0	
固定資産合計		0	
資産合計			62,502
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
役員立替	158,783		
流動負債合計		158,783	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			158,783
正味財産			-96,281